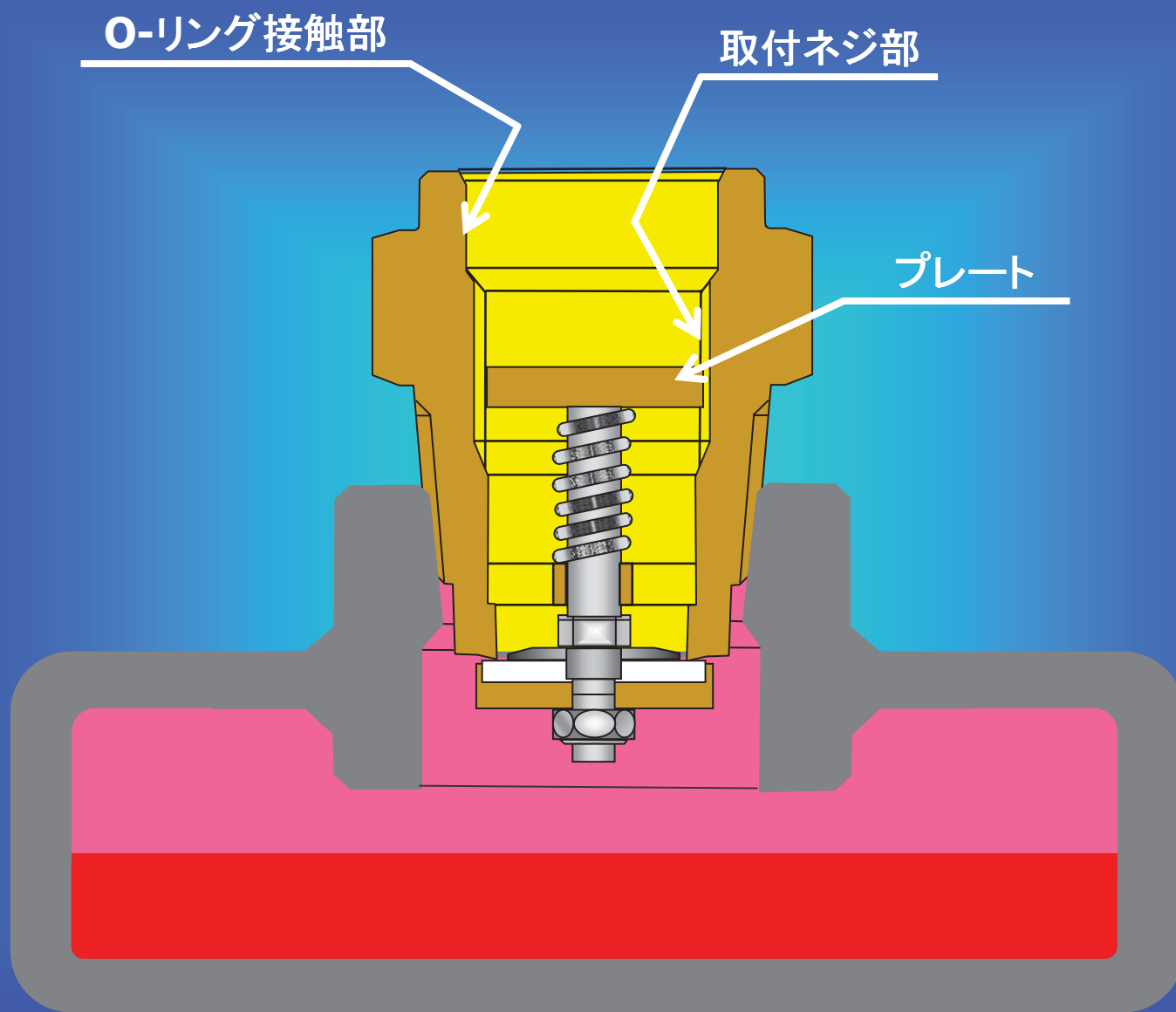


絶対に連結弁を緩ませないように作業する。  
必ずダブルレンチで作業を施行する。



## 連結弁の点検・清掃

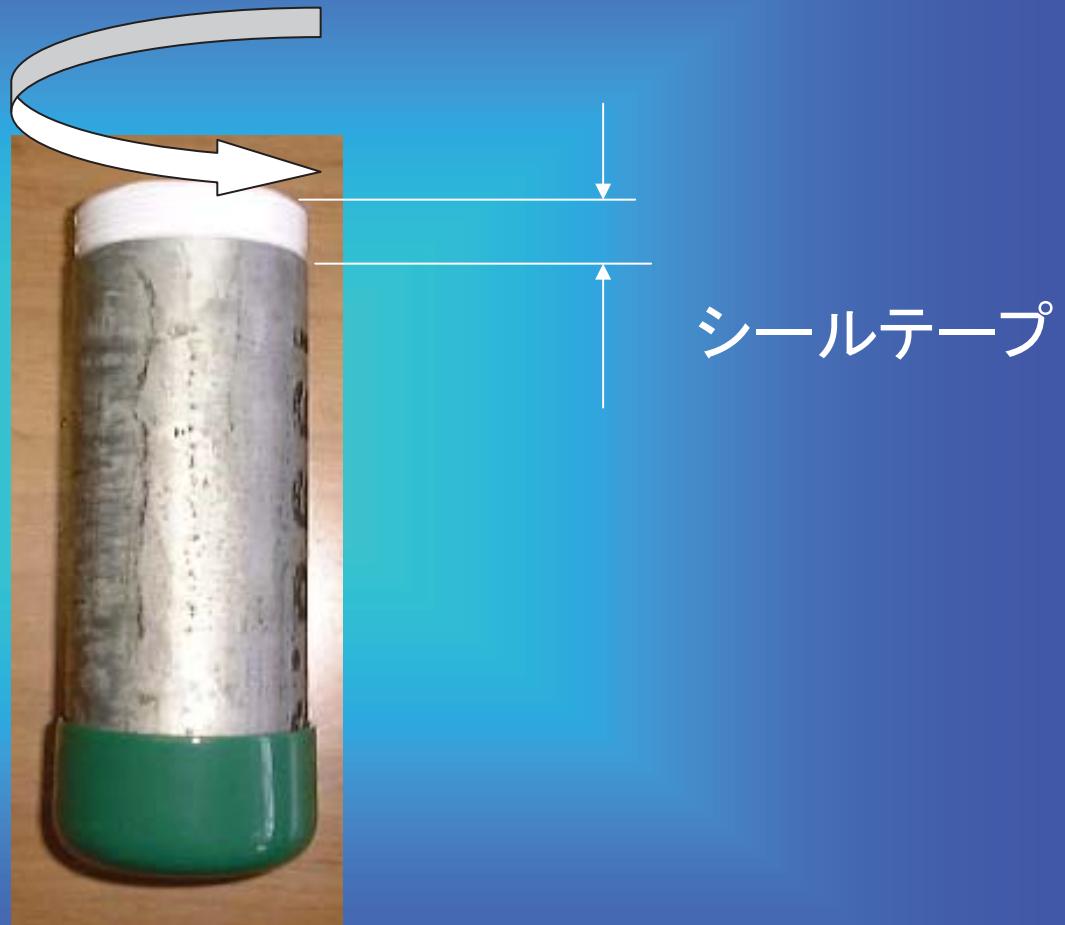




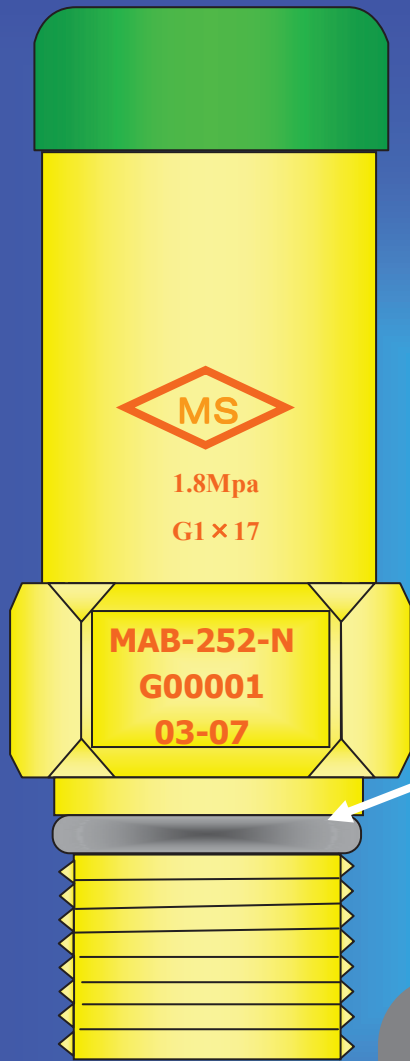
# ソケット・放出管の点検



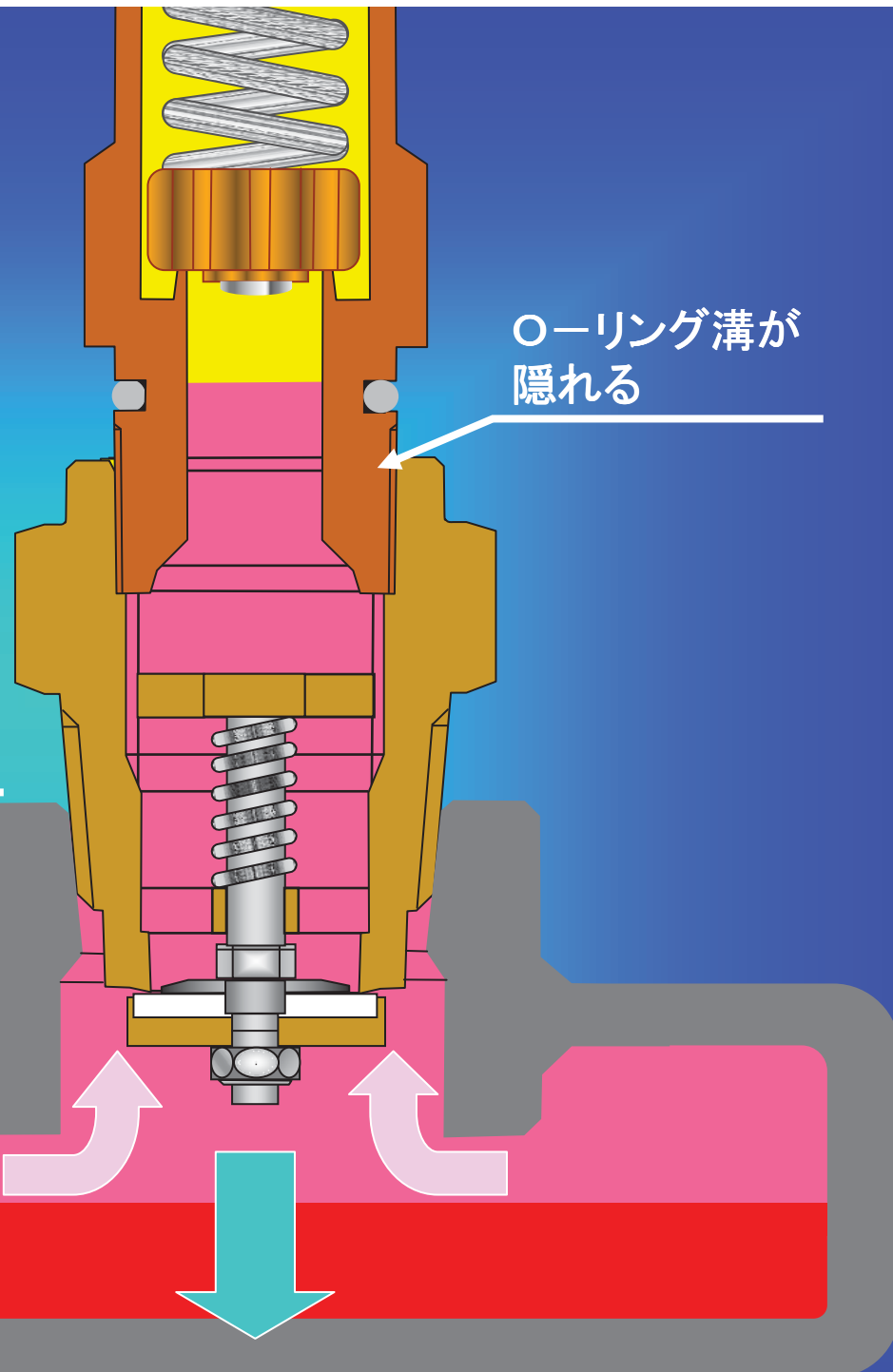
# 放出管ネジ部のシールテープ巻き



# 安全弁の取り付け



シリコンオイル  
を塗布



# 取付時の要点

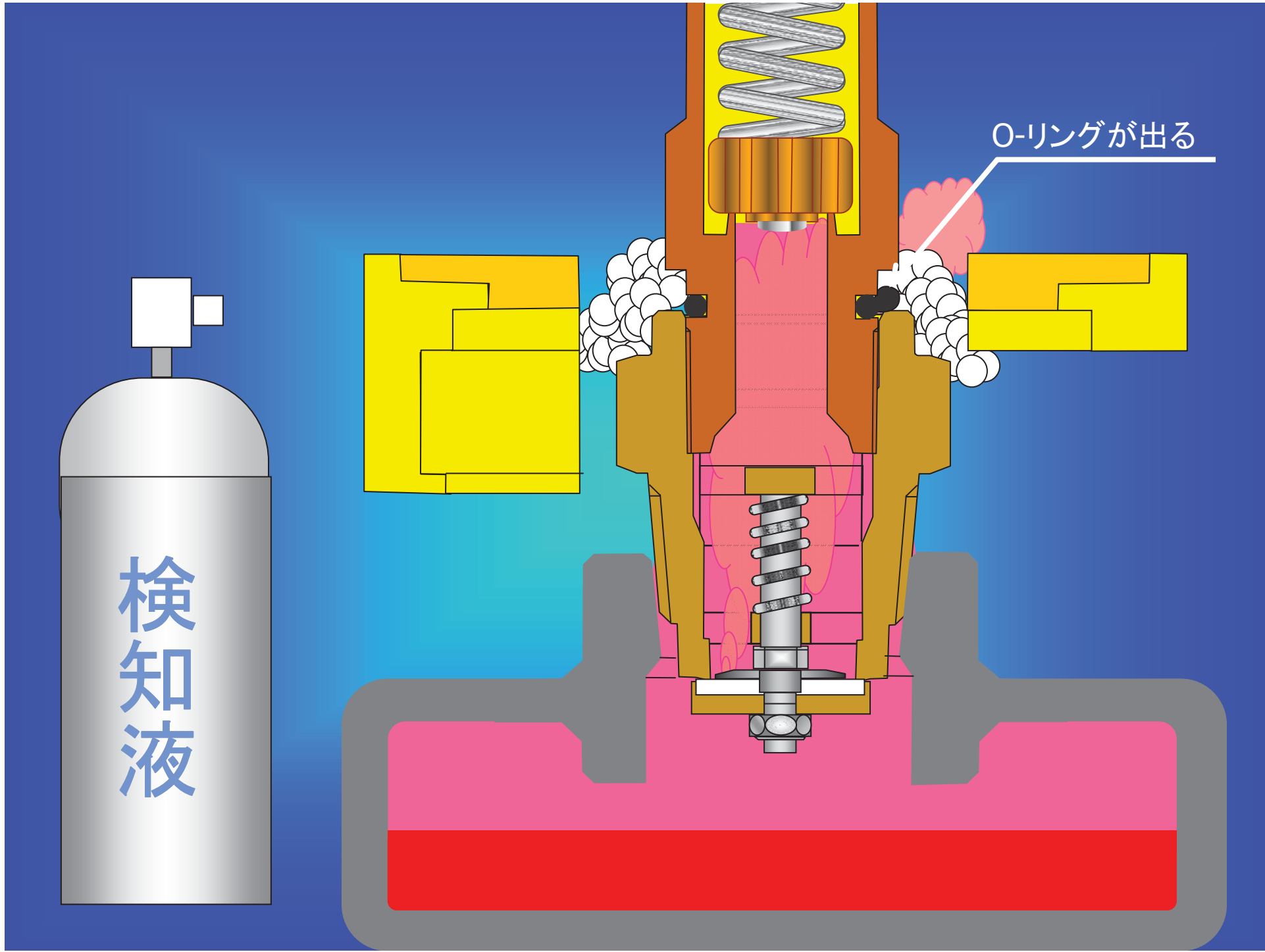
- 連結弁に異物を落とさない。
- 放出管にシールを行う。
- 放出管の防錆
- O-リングやO-リング接触部に傷、異物がないことを確認する。
- O-リングにシリコンオイルまたはO-リング用耐LPガスグリースをつける
- あまり強い力で締め付けない。
- 漏洩検査を行うこと。

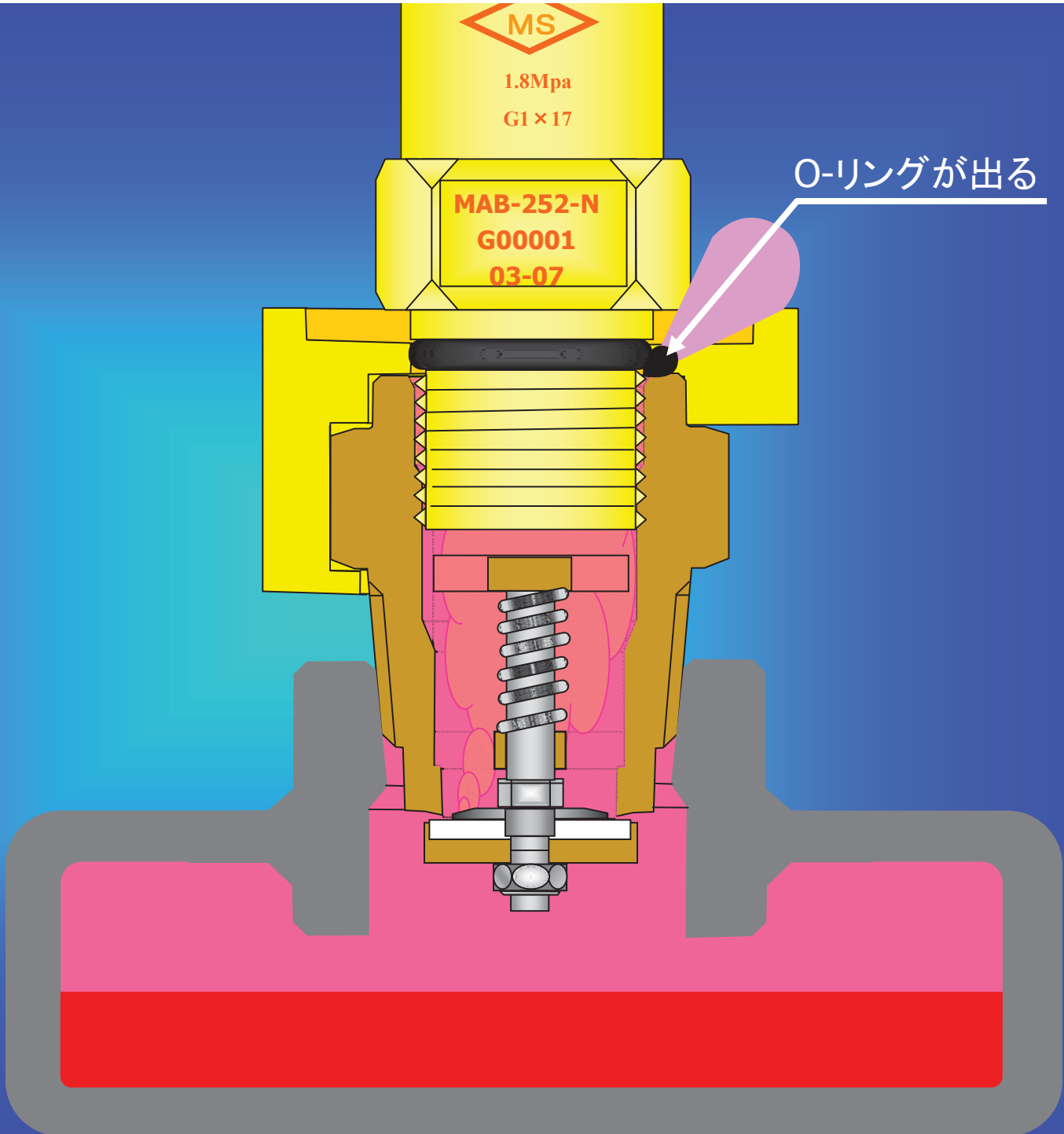


連結弁よりシート漏れ  
がある場合対処方法  
(交換治具の使い方)

検知液

O-リングが出る





# 漏洩検知液、石鹼水

- ①プラスチック部分にはかけない。
- ②錆びる。
- ③鏡も用意する。



# 交換作業に関する要点の確認

- 既設安全弁の検査日の確認
- 安全弁・連結弁のサイズ・種類の確認
- 放出管の防水・防錆
- 連結弁を絶対に緩ませない。
- O-リング・O-リング接触部に傷等をつけない。
- 連結弁の内部に異物を残さない。
- 作業中は火気に注意
- 交換治具を準備してから作業を行う
- 万一連結弁シート部から多量の漏れが発生している場合は、無理に交換せずに対処する。
- 記録をつける。

# 交換作業に関する要点の確認

- ボール弁式の連結弁があります。



# バルク貯槽用安全弁について

2ページ目にも記載されておりますが、安全弁に関しては、製造日より5年で交換、もしくは検査を行う必要があります。簡単に、新品との交換と再検査をする事の違いを説明させていただきます。

＜新品交換の場合＞

メーカーの保証がついている

納期が3週間～1ヶ月かかる

機器番号にて管理されている為  
機器番号による全ての対応が  
可能となる。

何かあった場合のメーカーに  
よる現地対応が可能

＜検査を受けた場合＞

検査した検査所の刻印保障

交換用として用意されている為  
即納対応できる所もある。

管理方法はわかりかねますが、  
再度の交換となる際の選定が  
機器番号では行えない。

遠方の検査会社の場合、対応  
に時間がかかる可能性がある。



検査をされる検査会社さまにおいては、弊社にて安全弁再検査の講習を受講された会社様のみ、部品セットとして提供させて頂いております。セット内容としては、スプリング押さえ、スプリング、スプリング受け、弁体受け、Oリングとなっており、メーカーとしては講習会の際オーバーホールにて再使用される場合は、部品の交換をお願いしております。